

1 提案者 原 亮介 (松本市立旭町小学校)

2 提案内容

(1) 単元名 「どうして日本の米の食料自給率が高いのか、その秘密を探ろう」

(2) 利用した番組名「ズームジャパン」

(3) 授業のねらい

第8回目のズームジャパンの番組(冒頭から3分)を視聴して、日本の食料自給率が低いことを知った子どもたちが、米の食料自給率が高いことに疑問をもち、米作りやその工夫などを調べることを通して、生産者の思いに心を寄せて、消費者として自分にできることを考えることができる。

(4) 授業の実践記録

段階	学習活動	児童の様子	指導・助言・評価
導入	番組を視聴して、日本の農業をめぐる問題や食料自給率の課題について関心をもつ。	- 日本の食料の半分以上は輸入にたよっているんだ。 - 高齢化が進んで農業の担い手が減ったり、畑が使われずに荒廃地が増えたりして、農作物の生産量が減っているかもしれない。 - 外国で不作だったり、外国と仲が悪くなったりしたら、買うことができなくなってしまう食料もあるかもしれない。 - 外国から買えない場合、日本でも作っていないから、国内で補えないかもしれない。 - 主な食料の自給率についてもっと詳しく調べてみたいな。	○『ズームジャパン』の動画を視聴する。 ○動画を見た感想を発言する場を設け、子どもたちが発言したことを模造紙に記録する。 ・食料自給率が下がれば、私たちの食生活において、どのようなことが起きそうかを問いかける。 主
	主な食料の自給率を確かめることで、日本の農業の未来について考える。	- 小麦や大豆は、ほとんど外国から買っているんだ。 - 肉は、国産と外国産と半分半分くらいなんだ。 - 野菜は、80%自給しているんだ。 - 米は、ほぼ100%自給できているんだ。 - 日本の食料自給率は、年々下がっていて、この50年間で、約20%下がっている。 - 米だけは、ほぼ100%自給できているから、米作りのやり方や、工夫に、農業の課題を克服するヒントがあるかもしれない。 - 米の自給率が高い理由を調べ	○主な食料の自給率がわかるグラフを資料で提示する。 ○日本と主な国の食料自給率がわかるグラフを提示する。 ・二つのグラフを関連付けて、これからの日本の農業の希望になりそうなのがないか、問いかける。 主

		てみたいな。	
展開	どうして米の自給率が高いのかを予想し、何を調べれば、それがわかるのかを考える。	・米作りに必要な水が豊富にあるからではないか。 ・田んぼにできる土地が多いのではないか。 ・高齢化が進んでも機械化で補っているからではないか。 ・外国は米作りに適していないから、輸入していないのではないか。 ・米の作り方やその工夫について調べたらいいと思う。 ・土地利用や水田の割合などについて調べたらいいと思う。 外国の米作りについて調べたらいいと思う。	・学習問題に対する予想と、何を調べれば、予想を確かめることができるかを問いかける。 主
	米作りについて調べる。	以下の4つの観点で、調べ学習を行う。 ・米作りに合った気候 ・米作りの一年 ・米作りの工夫（機械化、品種改良、保存の仕方、消費者に届くまでの流通の仕方、生産者の新しい取り組み、） ・外国のお米や米作り	・何を使って調べたらよいか、自分で判断して選べるように、教科書・資料集・インターネット検索・ズームジャパンの動画など、調べるときに使えるツールを共有する。 知・技 思・判・表 ○友達のノートを見合う場面を設定し、調べたことをわかりやすくまとめるコツがないか問いかける。 思・判・表
終末	米作りについて調べたことを発表し合い、調べたり聞いたりしてわかったことから、日本の米の自給率が高い理由を一人一人まとめる。	・わかったことを発表する。 ・自分で調べたことと友達から聞いたことから総合的に考えて、米の自給率が高い理由をまとめる。 ・自分の考えを発表する。	・同じ内容から発表するように促す。 思・判・表
	食料自給率をあげるために、消費者として何ができるかを考える。	・食料自給率をあげるために、自分には何ができるかを考える。 ・クラスとしても、何ができるかを考える。	○クラスのご飯の残量の変化を提示し、米の食料自給率と消費者として、自分やクラス皆で、できることがないか問いかける。 主

（5）考察

- ・子どもたちが、米作りについて探究的に学んでいく動機づけに、『ズームジャパン』の動画の冒頭が役に立った。動画内の役者の演技や表現に、子どもたちは終始注目していた。
- ・二つ先の単元の内容（主な国と比べると日本の食料自給率が低い）から扱い、米の自給率が高い理由について注目することで、日本の農業の希望として、米作りがどのような環境、どのような工夫や思いのもとで行われているのか、探究的に調べることにつなが

った。